

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 2 日 (2020.4.2)

【公開番号】特開 2018-146022 (P2018-146022A)

【公開日】平成 30 年 9 月 20 日 (2018.9.20)

【年通号数】公開・登録公報 2018-036

【出願番号】特願 2017-40705 (P2017-40705)

【国際特許分類】

F 1 6 L 23/032 (2006.01)

F 2 8 D 7/16 (2006.01)

【F I】

F 1 6 L 23/032

F 2 8 D 7/16 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 20 日 (2020.2.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

外周が整合する第 1 プレート (1) の平面と第 2 プレート (2) の平面との平面どうしの接合体からなり、第 1 プレート (1) に第 1 孔 (3) が形成されると共に、第 2 プレート (2) に第 2 孔 (4) が形成され、第 1 孔 (3) の孔縁 (3 a) と第 2 孔 (4) の孔縁 (4 a) とが部分的に重なり合った状態で、第 1 プレート (1) の平面と第 2 プレート (2) の平面とが互いに平行に接触し、

第 1 孔 (3) に取付パイプ (5) の端部が挿通されて、その先端が第 2 孔 (4) の孔縁の平面 (4 b) に着座され、

両プレートの前記平面間がろう付接合 (8) され、

第 2 プレート (2) の平面がガスケット (9) を介して機器 (10) の平面の重力方向の上面側に接続されると共に、第 2 孔 (4) の孔縁 (4 a) が機器 (10) の接続口 (11) の表面に接合されるフランジ構造。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

請求項 1 に記載の本発明は、外周が整合する第 1 プレート 1 の平面と第 2 プレート 2 の平面との平面どうしの接合体からなり、第 1 プレート 1 に第 1 孔 3 が形成されると共に、第 2 プレート 2 に第 2 孔 4 が形成され、第 1 孔 3 の孔縁 3 a と第 2 孔 4 の孔縁 4 a とが部分的に重なり合った状態で、第 1 プレート 1 の平面と第 2 プレート 2 の平面とが互いに平行に接触し、

第 1 孔 3 に取付パイプ 5 の端部が挿通されて、その先端が第 2 孔 4 の孔縁の平面 4 b に着座され、

両プレートの前記平面間がろう付接合 8 され、

第 2 プレート 2 の平面がガスケット 9 を介して機器 10 の平面の重力方向の上面側に接続されると共に、第 2 孔 4 の孔縁 4 a が機器 10 の接続口 11 の表面に接合されるフラン

ジ構造である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項 2 に記載の本発明は、請求項 1 に記載のフランジ構造において、

第 1 孔 3 および第 2 孔 4 は共に円形で、第 2 孔 4 の直径が第 1 孔 3 の直径より小に形成され且つ、第 2 孔 4 の孔縁 4 a が第 1 孔 3 内に位置して、その重力方向の上側の縁に付着する凝縮水が第 2 孔 4 内に流下するように全体が傾斜して機器の表面に配置されたフランジ構造である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項 1 に記載の発明は、取付パイプを第 1 孔に挿通して、その先端を第 2 孔の孔縁の平面に着座し、両プレートの平面間がろう付されたものである。

それにより、機器表面の接続口と取付パイプの開口との位置が整合しない場合でも、ガスケットを介して機器の接続口と取付パイプとを容易に接続することができる。それと共に、機器の平面の重力方向の上面側にガスケットを配置したので、第 2 孔の孔縁に付着する凝縮水を接続口に円滑に流下することができる。